

バイオテクノロジーノロジー展で

医療・介護製品をアピール

松田技術 研究所 保温容器・免震車いすで

(株)松田技術研究所(東京都板橋区、松田真次社長)は5月11日から3日間、東京ビッグサイトで開催の「第15回国際ハイ

オテクノロジー展」に出展、真空技術による「極保温容器」、振動を軽減する「車いす用免振キット」を出品して、本格的な医療・介護分野への進出をアピールした。

◇ 「極保温容器」は高真空技術による断熱性を活



極保温容器



「免震キット」
装着済み車いす

かし、電力等による冷却・加温でのエネルギーを使用せずに96時間の定温保温可能なステンレス製容器であり、移植やサンブルとしての臓器や細胞組織の輸送に期待でき

る。「車いす用免振キット」は従来の車いすに対して追加で搭載可能なユニット式、振動が負担となる患者(骨粗鬆症や腰痛)への負担軽減が目的で、

悪路での走行及び段差の乗り越えて発生する振動を約1/3に抑えられる。

同展ではこの他にも、①通常のキャスター(台車等)に使用する金属・樹脂・ゴム製の車輪に比べ振動を約半分にする「免振キャスター」、②上下前後左右あらゆる方向の周波数の振動に対応する「金属球状サスペンション」※通称「防振サスペンション」、③「金属球状サスペンション」を使用して荷物を振動・衝撃から守る「防振台車」、④既存の台車にワンタッチで取り付け可能な、球状エアースタ使用の防振台「簡易防振台」、⑤救難支援物資を上空から確実に投下する「衝撃吸収用エア式コンテナ」を展示した。